

提 案 書

モニタリング事業のテーマ	
テーマ	とっとり弥生の王国の取組みについて（遺跡の価値や特性を活かした今後の継続的なブランド価値向上策など）
内容	令和6年3月に青谷かみじち史跡公園が開園し、むきばんだ史跡公園とそれぞれ異なる特徴を持つ弥生時代の遺跡を有する鳥取県は「とっとり弥生の王国」と称し、文化的資産である遺跡のさらなる調査研究、広報や情報発信などの活用に取り組んでいる。遺跡の価値や特性を活かした今後の継続的なブランド価値向上策などについて、県民目線による提案をいただきたい。
テーマ担当所属	とっとり弥生の王国推進課

県政モニターの主な提案	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の著名な遺跡に比べ、県内の弥生時代遺跡の知名度は低い。また、縄文や古墳の時代に比べ、弥生時代の魅力の訴求力が低い状況にあり、インパクトのある展開が必要。 ・ 各展示施設は綺麗に整備されているが、他県の展示施設との差別化を図る必要がある。 ・ 「とっとり弥生の王国」の取組みが十分には広がっていない。
提 案 (改善策)	<p>①「とっとり弥生の王国」の取組みをインパクトあるものにするための体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織横断的なプロジェクトを展開する。また、鳥取県が取り組む他プロジェクト（まんが王国、星取県、蟹取県等）とも連携する。 ・ マスコミや鳥取県出身の漫画家やアーティストを巻き込んで話題性を高める。 ・ 弥生時代の遺跡を有する他地域との連携により弥生遺跡の盛り上げに繋げる。 ・ 県内の弥生遺跡の価値を学術的に深め、学術的発信をしていくために、専門的研究者を配置する。また、研究者が遺伝子解析などを県内で進められる体制づくりも必要。 <p>②ブランド価値の向上策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「とっとり弥生の王国」という名称・フレーズをパンフレットや案内看板等に徹底的に掲載し、イメージづくり・ブランドづくりを強化する。 ・ なぜ鳥取の弥生遺跡が日本史全体や東アジア地域全体の中で特に重要なのかの意味づけをしっかりと行い、学術とフィクションの両面から魅力的なストーリーに作り上げる。 ・ 弥生時代の前後にも注目し、その時代が今の鳥取県の産業や風土等にどう繋がっているかということを踏まえて、弥生時代の重要性をアピールする。 ・ 弥生時代の魅力を深掘りし、周知や認知を高めムーブメントとするために、各年度テーマ的に一点集中した戦略的予算を投入する。 <p>③展示施設の魅力ある展示方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡公園における接客を改善する。また、従来の展示や解説を活かし、楽しくて分かり易い、鑑賞者の満足感を高める方法を工夫する。 ・ 展示内容にストーリー性を持たせるため、弥生人の生活用具を当時の家の中に再現し、トータルで生活を理解できるように作り込む。また、遺跡の特性に合わせた風景と一体化した環境の中で弥生を体験できることをアピールポイントにする。 ・ 遺跡や遺物を上から見るだけの展示方法では弥生のイメージが湧かないので、遺跡とユーラシア大陸との繋がりについてバーチャル技術を用いて展示する。 <p>④集客力を高める展示施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスコットキャラクターの活用展開を拡充し、施設でなければ買えないようなレアグッズを販売する。

- ・妻木晩田遺跡の竪穴住居でキャンプやグランピング（火起こし体験や土器での炊飯体験付き）を定期的実施し、キャンプファンを弥生ファンに取り込む。
- ・公共交通機関による来園を促進するため、交通アクセス改善や2次交通確保など、施設アクセスを改善する。

⑤多様な人々に刺さる情報発信

【県単独実施が可能なもの】

- ・「とっとり弥生の王国」の意義や目標を繰り返し情報発信する。
- ・パンフレット等のお勧めポイントを、書店やスーパー等のポップの様に担当者名や顔写真付きでアピールして親近感をもってもらう。
- ・青谷上寺地遺跡や妻木晩田遺跡以外の優れた弥生の遺跡や出土品もアピールする。
- ・鳥取県を中心とした地図（環日本海地図）を作成して「とっとり弥生王国」をアピールする。
- ・テレビやネットのCMを積極的に活用したり、ターゲット戦略に特化した広報・宣伝を実施する。
- ・「弥生の王国」の国会を開催し、王様（知事）等が被り物を被って出席してアピールする（例：いやあよい日だなあ）。

【企業等との連携が必要なもの】

- ・遺跡の「映える」場所をSNSで発信する。また、遺跡の写真をSNSに投稿すると鳥取県内の飲食店等で割引が受けられるイベントを実施する。
- ・「弥生」というキーワードに絡めたイベント等を企画し、別の切り口、観点からの興味へのアプローチを提案する。

〔具体例〕

- 県内に出店している企業の社員さんに、キャンプ場で半年程度弥生の生活（稲作、勾玉・石包丁・船作り、収穫祭を兼ねたキャンプ対決等）をしてもらい、弥生人化していく様子をYouTubeで発信する。
 - 店名に「やよい」が含まれている飲食店とコラボして、鳥取県産品を扱ってもらう。
 - 「やよい」という名称に着目し、飲食店、人、県内で活躍しているアーティストなどとのコラボ企画や「弥生」に関連したイベントを開催する。
- ・「名探偵コナン」のエピソードに青谷上寺地遺跡や妻木晩田遺跡を組み込んでもらうなど、マンガとコラボして情報発信する。
- ・周遊ツアーやミステリーツアーの企画や誘致を旅行会社に提案する。
- ・弥生時代は韓国や中国から影響を受けていたことを韓国や中国の方々に対し発信することでインバウンド需要を取り込む。
- ・マーケティングの専門家等に客観的に評価してもらうなど、情報発信の外部評価やフィードバックを実施する。
- ・県内の弥生時代遺跡の価値を学術的に深め、学術的発信をしていくために、専門的研究者を配置する。（①の再掲）

⑥地域で盛り上げる「とっとり弥生の王国」

- ・学校の授業で弥生の重要性を教えて、各遺跡への野外学習や遠足を必須にして印象付ける。（例：弥生時代の道具を使った稲作体験など）
- ・史跡を活用した仕掛けづくりを企画し、イベントなどへの参加者や宿泊客を呼び込む。

〔具体例〕

- 史跡をマラソンやトライアスロンのコースに組み込む。
 - 相撲の土俵を作って巡業を誘致する。
- ・青谷かみじちとむきばんだの両遺跡が更に連携し、両施設を訪問すると得られる特典や野外コンサートやマルシェやキッチンカーによる食のイベントを盛んに開催する。